

2008/8/6 観察会報告

参加者：市川、染谷、高橋、西澤、山口、相澤

灼熱の太陽の中で 2 時間半ほどの調査・観察をして、最後にはみんなバテバテになりました。その様な暑さのせい、前日に多少の降雨があったはずなのに、湿地の水はほとんど枯れておりました。このことが植生などにどのような影響を与えるのか、そのほんの少しの手がかりや予兆でも、調査・観察から解ると良いですね。

さてその調査ですが、今回は最初に 1 番を見た後は、いつもと逆周りをしようということで 8 番から 2 番までを数字の大きい順に見て行きました。

8 番を調査している時点でかなり種数や緑量が増えていることがわかったため、今回は周辺の植物の記録はとりませんでした。

5 番においては前回薺こぎした跡にコガネグモ（環境の良い場所にしか住まないクモです、写真参照）が巣をはって行く手をはばんでおり、それをよけつつやっとのことで調査区にたどり着くと、調査区が完全に薺と一体化しており、皆で調査区を一周して周りの草を倒してからでないと調査できませんでした。

今回は久しぶりに山口さんが来てくれたので、ところどころ虫も観察することができました。かなり不完全な記録ではありますが、観察した虫を名前のみ以下に示します。

クモ

- ・ アシナガグモ
- ・ コガネグモ
- ・ コハナグモ

ハチ

- ・ オウモンクロベッコウ

チョウ

- ・ キアゲハ
- ・ キタテハ
- ・ モンシロチョウ
- ・ ムラサキシジミ

甲虫

- ・ マメコガネ

他、カマキリ・バッタ類など



5 番の手前でコガネグモが行く手を阻んでいました。調査区は 5m ほど先です。

* 今回は相澤が温度計を忘れたため、温度の測定は行っておりません。

* 赤い下線：前回いなかったが今回いた種

薄字の種類：前回見られたのに今回確認されなかった種類

1番 時間 9:55 天気：晴れ 水深：0cm	
◆調査区（テープなし）（1種） <u>ヨシ</u> （葉がでる前の状態）	
◆耕作区（テープあり）（1種） <u>ヨシ</u> （葉がでる前の状態）	
◆周辺の状況など 相も変らぬヨシ原。 7月には水深が26cmもあったのに、完全に水が枯渇しています。	

2番 時間 12:20 天気:晴れ 水深:0cm

◆調査区 (テープなし) (6種)

キショウブ・クサヨシ
タネツケバナ・ヒレタゴボウ
ミゾソバ・ヨシ
カズノコグサ



◆耕作区 (テープあり) (9種)

アメリカゼナ
カヤツリグサ科 sp・クサヨシ
オオイヌタデ?・セリ
タネツケバナ・ヒレタゴボウ
ミゾソバ・ヨシ
カズノコグサ



◆周辺の状況など

水深は 0cm ではありますが、他と違いここだけは土がだいぶ湿っています。

絞り水の出るもとはこの辺にあるのでしょうか？

調査区はヨシ原に吞まれ気味。

耕作区と調査区で水分条件が少し違いそうです。



3番 時間 12:10 天気: 晴れ 水深: 0cm

◆調査区 (テープなし) (7種)
アメリカセンダングサ・クサヨシ
ケイヌビエ
セイタカアワダチソウ・セリ
タネツケバナ・ミゾソバ
カモジグサ



◆耕作区 (テープあり) (6種)
ケイヌビエ・セリ
チョウジタデ?・ヒレタゴボウ
ミゾソバ・ヨシ
カモジグサ



◆周辺の状況など

明らかに緑量は増えていますが、種類はあまり増えていません。ただ、耕作区では今期はまだ他のどこでも見られていないチョウジタデの実生らしきものがみられました。

前回のケイヌビエ?はケイヌビエでした。



4番 時間 11:57 天気:くもり 水深:0cm

◆調査区 (テープなし) (3種)

ジュズダマ?・ヒレタゴボウ

ヨシ

クサヨシ



◆耕作区 (テープあり) (3種)

クサヨシ・ジュズダマ?

ヒレタゴボウ



◆周辺の状況など

ここも7月には水深が9cmあったのですが、地面が固くなるほど枯渇しています。

ジュズダマ?はおそらくジュズダマであっていますが、未だ芽生えの状態なので念のため保留です。



5番 時間 11:35 天気:くもり 水深:0cm

◆調査区 (テープなし) (13種)

アオミズ・イボクサ・イヌビエ
ケイヌビエ・タカサブロウ
タコノアシ・ヌマガヤツリ
ヒメジソ・ヒレタゴボウ
ミゾソバ・ヤブヘビイチゴ
ヨシ

不明 sp(セイタカの様、鋸歯あり)

カワヂシャ (枯)

コウガイゼキショウ

サクラタデ?・セリ・ツルマメ



◆耕作区 (テープあり) (11種)

アメリカセンダングサ

イボクサ・イヌビエ

ケイヌビエ・コウガイゼキショウ

セリ・ヌマガヤツリ

ノミノフスマ・ヒレタゴボウ

ヨシ・ヨメナ sp

イ・ウシハコベ・サクラタデ?

タコノアシ・ミコシガヤ

ヤブヘビイチゴ

不明 sp (ギザギザの葉)



◆周辺の状況など

完全に藪と一体化していました。

先月いち早く花が咲いていたヒレタゴボウが今月は咲いていませんでした。

種の入替わりが激しく、まだ枯れる時期でないイなどは、多種との競争に負けてなくなったのではないのでしょうか?



6番 時間 11:03 天気:くもり 水深:0cm

◆調査区 (テープなし) (19種)

アオミズ・イボクサ
エノコログサ・カナムグラ
カヤツリグサ
ギシギシロゼット?
コゴメガヤツリ・コヒルガオ
サクラタデ?
セイタカアワダチソウ・セリ
ツルマメ・ノミノフスマ・フジ
ミゾソバ・ヤブヘビイチゴ・ヨシ
ヨモギ・イネ科 sp (毛が多い)
ウシハコベ・カワヂシャ
クサヨシ・タネツケバナ
ササ sp



◆耕作区 (テープあり) (15種)

アオミズ・イネ科 sp (エノコロ?)
ウシハコベ・オギ・サクラタデ?
セイタカアワダチソウ・セリ
タネツケバナ・ツユクサ
ノミノフスマ・フジ
ハルジョオンロゼット?
ヒレタゴボウ・ヤブヘビイチゴ
ヨシ
イヌガラシ・イヌタデ
カワヂシャ (枯)・クサヨシ
不明 sp



◆周辺の状況など

周辺は前回の草刈り後、少し植生が回復してきたようです。

調査区と耕作区で、写真で見ても明らかに植生が違います。

耕作区はサクラタデ?で覆われており、土の下にあった種子が影響しているかもしれません。



7番 時間 10:48 天気: 晴れ 水深: 0 cm

◆調査区 (テープなし) (8種)

アメリカセンダングサ
イヌガラシ・イボクサ
カラスウリ (根は枠外)
ヒレタゴボウ・ミゾソバ・ヨシ
イネ科 sp



◆耕作区 (テープあり) (7種)

イボクサ・カラスウリ (根は枠外)
セリ・タネツケバナ
ヒレタゴボウ・ミゾソバ
イネ科 sp
クサヨシ・タガラシ・ヨシ



◆周辺の状況など

いつもここは旧水路のぬかるみを渡るのに大変なのですが、ここまでもが枯渇していました。調査はやりやすかったのですが...

耕作区の方にヒレタゴボウが目立ちます。

前回までの緑量との差は一目瞭然です。



8番 時間 10:20 天気:晴れ 水深:0cm

◆調査区 (テープなし) (14種)

アオミズ・オギ
ギシギシロゼット?・コヒルガオ
ササ sp (コブナグサ?)
スギナ・セイタカアワダチソウ
タデ sp (長葉)・ツユクサ
ツルマメ・ヒメジソ
マツカサススキ
ヤブヘビイチゴ・ヨシ
ヌマガヤツリ?



◆耕作区 (テープあり) (種)

アオミズ・イヌガラシ・イヌタデ
カワヂシャ・コゴメガヤツリ
コヒルガオ・スギナ
タデ sp (長葉)・ツユクサ
トキワハゼ・ハコベ?・ブタクサ
ヨシ・不明 sp (対生)
不明 sp (互生、ヒレタ?)
タネツケバナ



◆周辺の状況など

いつも最後にやっている場所ですが、今回は新鮮な気持ちのまま調査できました。

前回のイヌタデはタデ sp (長葉)に、カヤツリグサ属 sp はコゴメガヤツリに、ハコベ?は希少種のアイナエか?という話にもなりましたが、どうも違いそうです。植物の先生に確認しておきます。

ブタクサは調査後抜きました。

